

満濃中学校福祉講座

主催

協力

期間

まんのう町立図書館

まんのう町教育委員会

2023年11月30日～12月8日

今までの活動経過

正友会とまんのう町立図書館とは、本を貸し借りすることからつながりが始まりました。公共性の高い施設・機関として「地域住民の方々のお役に立ちたい」という共通する想いがあります。多くの方に気軽に相談いただける場所になることを目標に、協働プロジェクトを進めています。

2022年度は一般の方に向けた福祉講座を開催しました。図書館の会議室を借用し、正友会職員が講師となり、計2回にわたって話をしました。

[まんのう町立図書館で福祉講座開催!! | 社会福祉法人 正友会 \(SEIYUUKAI.JP\)](#)
[図書館とのコラボ企画 無事終了しました。 | 社会福祉法人 正友会 \(SEIYUUKAI.JP\)](#)

2023年度の活動

今年度は、まんのう町地域包括支援センターとまんのう町社会福祉協議会が協働プロジェクトに参加してくださいました。まんのう町教育委員会や満濃中学校の先生方とともに話し合いをすすめ、家庭科の先生に全面協力をいただいて、今回の企画が実現しました。

中学1年生の家庭科の教科書に「わたしたちの住生活」という単元があります。テーマに沿って、テキストのイラストや施設の環境・設備がわかる写真を正友会職員が説明し、生徒たちが課題にチャレンジしました。イラストに出てくるおじいさんを主人公に「おじいさんの困るところ(危険な場所や暮らしにくいところ)はどこか」「その改善方法」をグループに分かれて考え、発表し合いました。「玄関に段差がある」「一人でお風呂に入るのは危険」などたくさんのアイデアが出ました。

お伝えしたこと

考えてもらったのは「自分(私)にできること」「おじいさん自身ができること」です。また、危険個所を取り除くばかりではなく、おじいさんの「自分でしたい気持ち」を大切にし、どうやったらそれが実現できるか考えること。そのためには「その人らしさを奪わないように。まずはどんなことをしたいのか、ご本人の想いをうかがうようにしましょう」とお伝えしました。

今後への期待

それぞれの関係機関からは、もし身近なところで困りごとがあったら、自分たちだけで抱え込むのではなく、専門機関や施設へ相談してください。と呼びかけました。「わたしたちの住生活」の授業を通じて、福祉や介護のベースとなる考えを伝えることができたと思います。今回の授業を受けてくれた生徒たちがさらに学びを深め、地域を支える人たちに成長していってくれることを心より願っています。